北岳　山行

日時　平成22年9月2日（木）～4日（土）

場所　山梨県

参加　5名

1日目

　船橋からあすさ3号で甲府に、荒井さんが千葉駅から同じ列車に乗車。道中は隣りあわせで甲府駅に到着。甲府駅からバスの予定であったが、高橋さんがタクシーと交渉し、一人2400円（バス代は1900円）で広河原まで行く事が可能となり、5人タクシーに乗車。やはりバスよりは早く広河原に到着ちゅう食後11:40に出発。登山客は少ない。２～３グループのパーティーが登山を開始した。かなりの急坂を登山したが、14時20分に白根御池小屋に到着した。綺麗な山小屋だ。宿泊客は25名程度でゆったりと宿泊することが出来た。周りにはテントが張られ、意外と南アルプスは若者のグループが多い。明日途中で挨拶を交わした若者グループは山梨大学の山岳部でまだ20歳ほどの5人のグループだった。また、単独行のひ弱な幹事のする小母さんとも親しくしたが、彼女は見かけによらず、タフで真の強い女性と推測された。午前4時ごろ星空を眺めたが満天の星空に感動した。

２日目

　4時起床。朝食を済ませ、早々と私宅をして5:25出発した。白根御池小屋を出発してから直ぐに分かれ道があり二股方面に向けて進んだ。登山道はそれほど急な道ではなく、スムースな登山をする事が出来た。途中雪渓もみられ、また北岳バットレスをアタックしている登山者を右に見ながら進んだ。この辺はかなり湧き水が豊富で沢の水が中々枯れる事がない。後ろに鳳凰三山を眺めながらの登山となり快適な登山だ。八本歯のコルへのルートは木梯子がかなり多く掛けられているが危険な箇所はない。途中甲斐駒ケ岳が頭を見せ始めた。頂上辺りが白い石灰岩におおわれた山だ。8:30に八本歯のコルに到着、ほぼ時間通りの行程だ。順調に登山が実行されている。甲斐駒ケ岳が全容を現し始めた。さらにその右側には八ヶ岳の全貌が望めた。間ノ岳も全貌がはっきり望めた。南側のはるかに富士山が遠望できた。逆光でシルエット風にしか確認できないが姿はクッキリト見ることが出来た。トラバース道を進み10:10に北岳山荘に到着。北岳山荘に不必要な荷物を預け、軽装にして間ノ岳の登山を開始した。10:30に登山を開始し、11:10に中白根山に到着した。天気は最高の天候であるが、午後には山特有のガスが発生し、山々を覆い視界が悪くなり遠望は望めなくなる。そのことを気にしながら、なるべく早く頂上を極めたい思いがはやった。中白根山で昼食を取り､11:35に登山を開始した。約1時間20分ごろ12:50に間ノ岳の頂上に到着した。幸いにしてまだこの時間はガスの発生が少なく頂上からは遠くのほうまで見渡す事が出来、大満足な頂上からの眺めであった。帰路は体力の消耗もあり、かなり遠く感じられた。結局15:00に到着した。計画通りの行程であった。北岳山荘は現在改装中で宿泊は出来るが、やや窮屈な感じは否めない。特にトイレの大改修を実施している関係上どうしてもトイレ臭さが気になった。宿泊客はかなり多く、70～80名くらいの登山者で賑わった。食事は1回では出来ず2回に分けての食事となった。水は１リットルまでは無料で支給してくれるが、飲み水に使用するため、洗面当に使用する水は殆どない。トイレの手洗い場の水で顔をぬぐう程度で洗面を済ませた。それでも大きな山荘であったので、布団は一セット使用することが出来た。

３日目

　午前4時前に起床。4時45分から朝食。早めの朝食を済ませ、ご来光を見るために小屋のそとに出た。富士山が目の前に迫って見えた。その右側から真っ赤な太陽が昇ってくる光景は圧巻であった。5:25山荘をスタートした。北岳までは約1時間半の行程だ。岩場の登山であるが危険な箇所はない。6:55に頂上に到着。天気は最高。左サイドに中央アルプスの山々、その右側の遠方に着たアルプスの山々、その中間あたりに乗鞍岳、さらにその左に御岳山がくっきりと見ることが出来た。足元には千丈岳、甲斐駒ケ岳が眼前にせまり、やや遠方に八ヶ岳、その右側の近くに鳳凰三山が迫る。更に右に目を移せば富士山がはっきりと見ることが出来た。素晴らしい大パノラマだった。7:10に北岳を後にした。下山を急いだ背景には自分を含めて3名ほどが雉撃ちえお模様したので下山を急いだ。7:50に北岳肩の小屋に到着。そこで用を足してほっとして更に下山を開始した。小太郎尾根分岐を経て草すべり道に進路をとり下山を続行。この下山道は近道ではあるがかなりの急坂道だ。一気に700ｍほど下山する事になる。土曜日であったので頂上を目指す登山客が多く、かなりの登山者途すれちがった。急な坂道の下山、登山も3日目である事も相乗して、かなりの疲れが皆の中に見え始め、下山速度も極端に低下。かなりの下山者に追い抜いてもらい、くたくたになりながら下山を急いだ。しかし速度はあがらない。バスの時間が迫る。気は焦ったところで佐藤さんが膝の故障で立ち往生してしまった。ザックを担いでの下山が不可能となった。自分が2つのザックを背負い約200mの下山を負った。13:10に広河原に到着した。予定より40分も遅れての到着だ。13:40発のバスには辛くも間に合う事が出来た。小屋で遅い昼食を済ませ、予定にバスに乗車し甲府駅に着いた。計画通り「城北の湯」で3日ぶりの汗を流し、駅構内の中華料理屋で祝杯を挙げ18:05初の特急スーパーカイジで帰路についた。帰宅は20:45ごろであった。